

計算結果

(1) 波瀬前地区

安定計算の結果、全体すべり、末端部のすべりのいずれにおいても地震時安全率は1を上回る結果となった。算出した安全率を表1に示す。

表 1 安定計算結果一覧表

地区名	すべり面		最小安全率		
			常時	中規模地震 (kh=0.20)	大規模地震 (kh=0.25)
波瀬前地区	複合すべり	全体すべり	13.511 (Fs>1.5)	3.603 (Fs>1.0)	3.042 (Fs>1.0)
	円弧すべり	末端部のすべり	5.541 (Fs>1.5)	2.764 (Fs>1.0)	2.452 (Fs>1.0)

※上段：計算結果，下段：必要安全率

表 2 地盤定数一覧表

記 号	土 層 名	設計N値	単位体積重量 γ t (kN/m ³)	粘着力 C (kN/m ²)	内部摩擦角 φ (度)
Bn	盛土	-	20.0	16.0	20.5
Ag	沖積礫質土層	4	17.9	24.5	21.6
Dc	洪積粘性土層	12	18.0	75.0	0.0
Dg1	洪積礫質土層1	50	20.0	0.0	40.0
Dg2	洪積礫質土層2	50	20.0	0.0	40.0
G	変成斑れい岩	209	20.6	87.2	41.1

※青字:室内土質試験結果

※黒字:一般値および各種関係式、換算式より設定

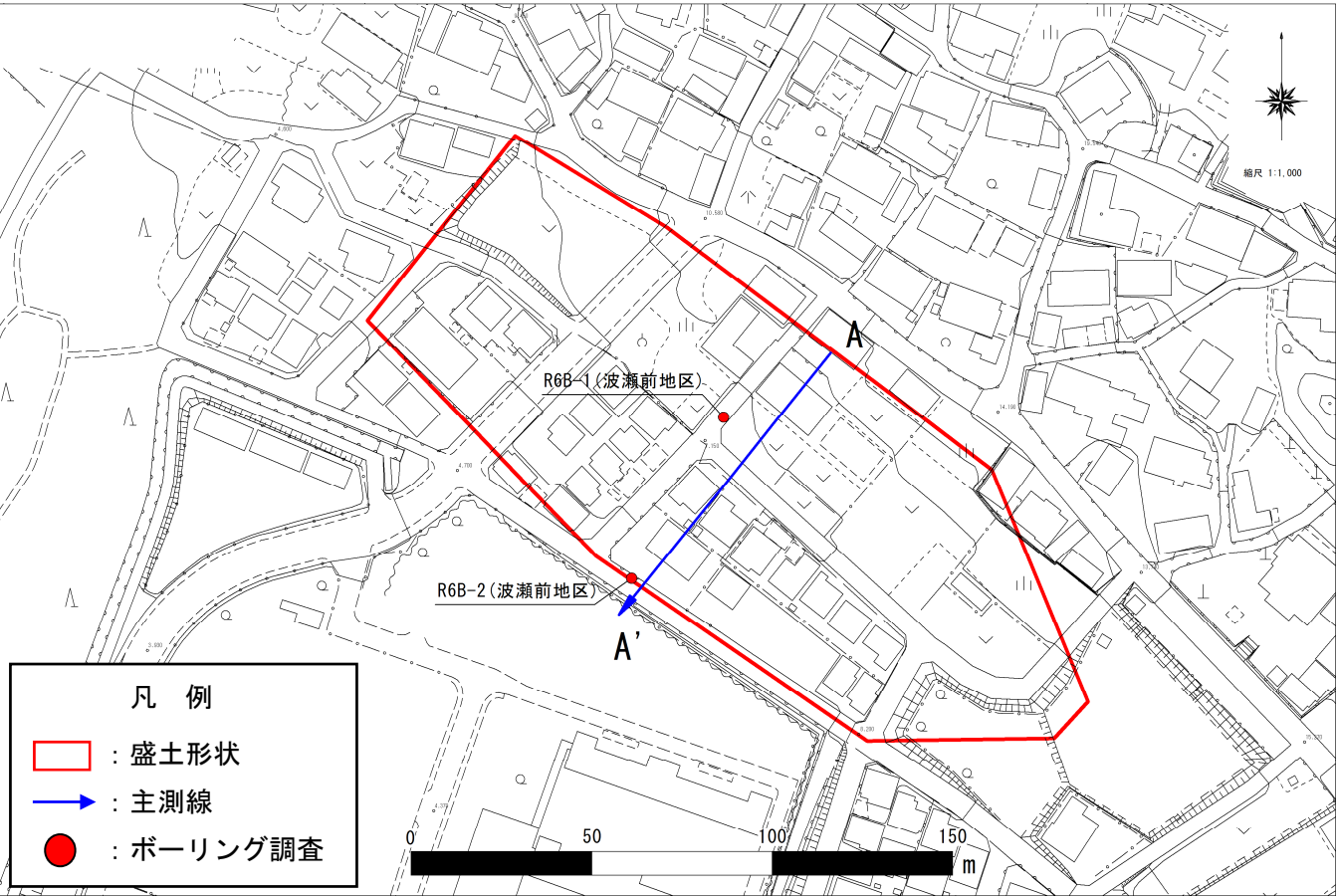


図 1 平面図

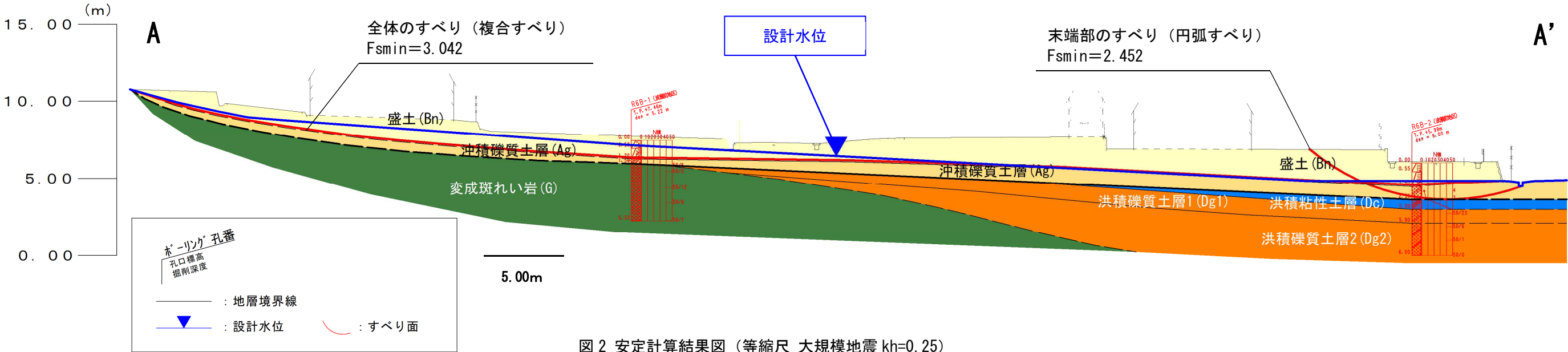


図 2 安定計算結果図（等縮尺_大規模地震 kh=0.25）

(2) 東滝頭地区

安定計算の結果、全体すべり，末端部のすべりのいずれにおいても地震時安全率は1を上回る結果となった。算出した安全率を表 3 に示す。

表 3 安定計算結果一覧表

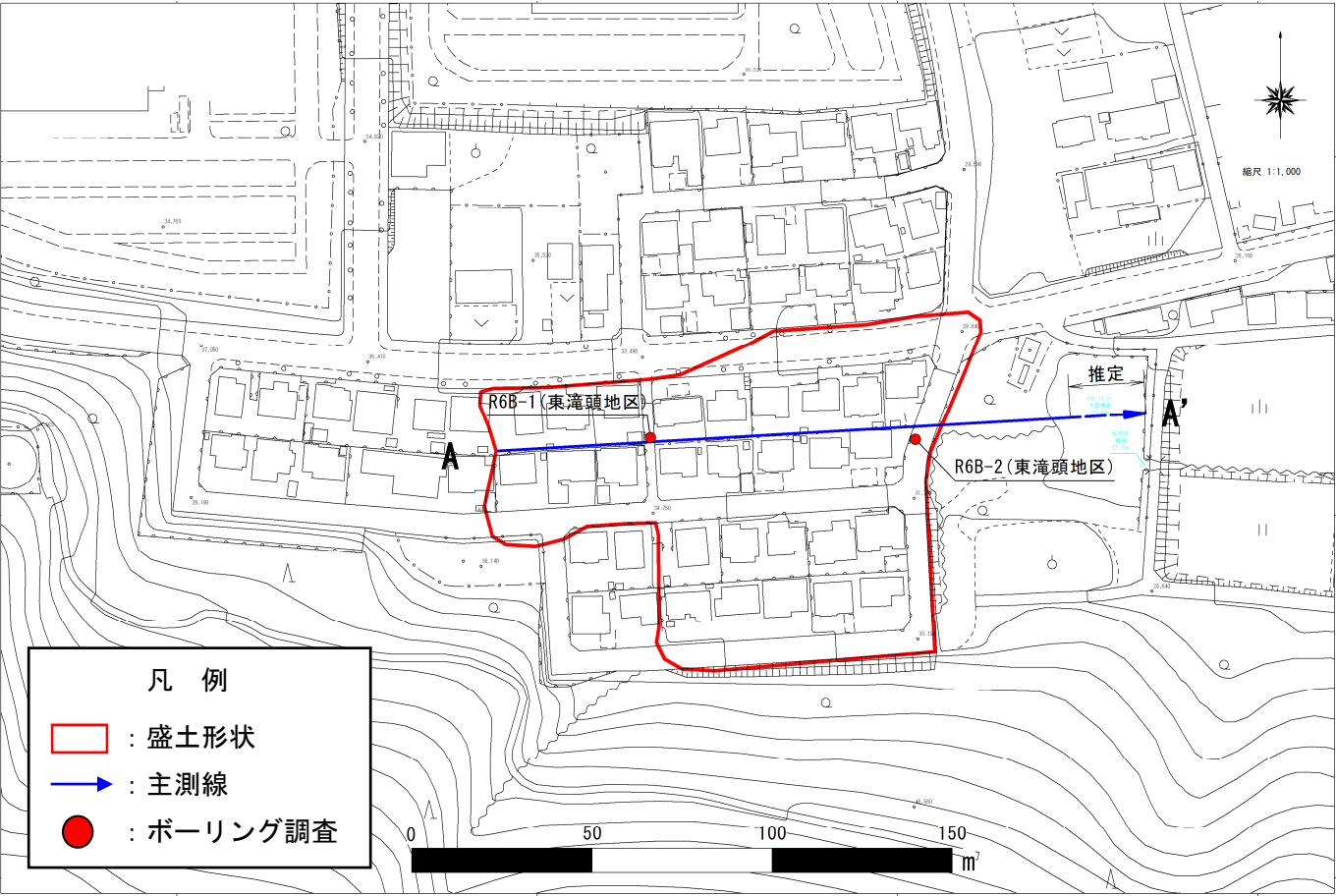
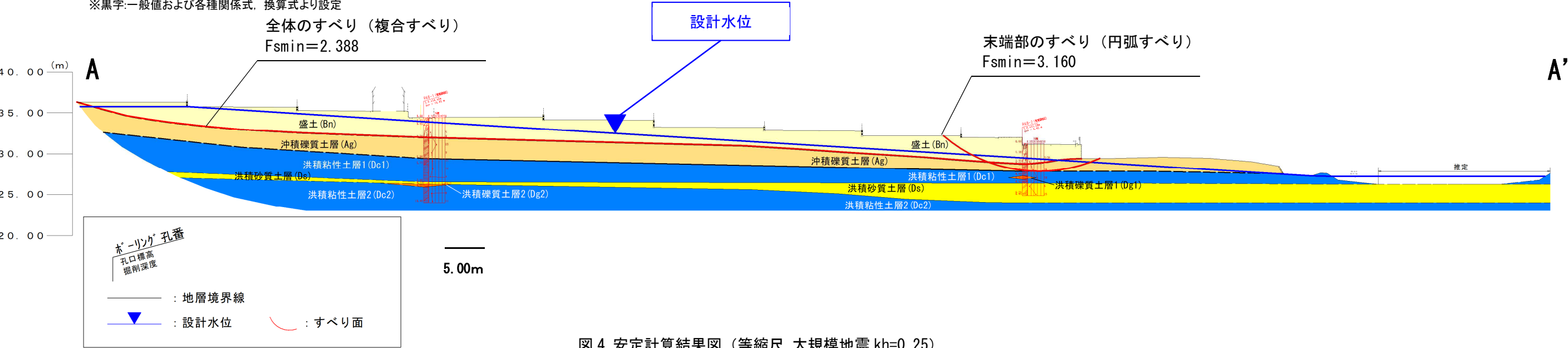
地区名	すべり面		最小安全率		
			常時	中規模地震 (kh=0.20)	大規模地震 (kh=0.25)
東滝頭地区	複合すべり	全体すべり	12.090 (Fs>1.5)	2.847 (Fs>1.0)	2.388 (Fs>1.0)
	円弧すべり	末端部のすべり	6.732 (Fs>1.5)	3.571 (Fs>1.0)	3.160 (Fs>1.0)

※上段：計算結果，下段：必要安全率

表 4 地盤定数一覧表

記 号	土 層 名	設計 N 値	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	粘着力 C (kN/m ²)	内部摩擦角 ϕ (度)
Bn	盛土	5	19.3	21.0	18.0
Ag	沖積礫質土層	16	19.7	52.0	17.5
Dc1	洪積粘性土層1	9	18.0	56.0	0.0
Dg1	洪積礫質土層1	30	18.0	0.0	35.0
Ds	洪積砂質土層	15	18.2	18.0	24.2
Dg2	洪積礫質土層2	50	20.0	0.0	40.0
Dc2	洪積粘性土層2	9	18.0	56.0	0.0

※青字:室内土質試験結果
※黒字:一般値および各種関係式、換算式より設定



(3) ほると台地区

安定計算の結果、全体すべり、末端部のすべりのいずれにおいても地震時安全率は1を上回る結果となった。算出した安全率を表5に示す。

表 5 安定計算結果一覧表

地区名	すべり面		最小安全率		
			常時	中規模地震 (kh=0.20)	大規模地震 (kh=0.25)
ほると台地区	複合すべり	全体すべり	11.276 (Fs>1.5)	2.933 (Fs>1.0)	2.471 (Fs>1.0)
	円弧すべり	末端部のすべり	2.253 (Fs>1.5)	1.460 (Fs>1.0)	1.330 (Fs>1.0)

※上段：計算結果，下段：必要安全率

表 6 地盤定数一覧表

記 号	土 層 名	設計N値	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	粘着力 C (kN/m ²)	内部摩擦角 ϕ (度)
Bn	盛土	11	18.1	11.0	26.9
Dc	洪積粘性土層	10	20.6	14.0	20.3
Dg	洪積礫質土層	30	21.4	34.0	22.0
Ch-W	風化岩	283	21.1	495.7	21.4
Ch	チャート	300	21.2	513.6	21.4

※青字:室内土質試験結果

※黒字:一般値および各種関係式，換算式より設定

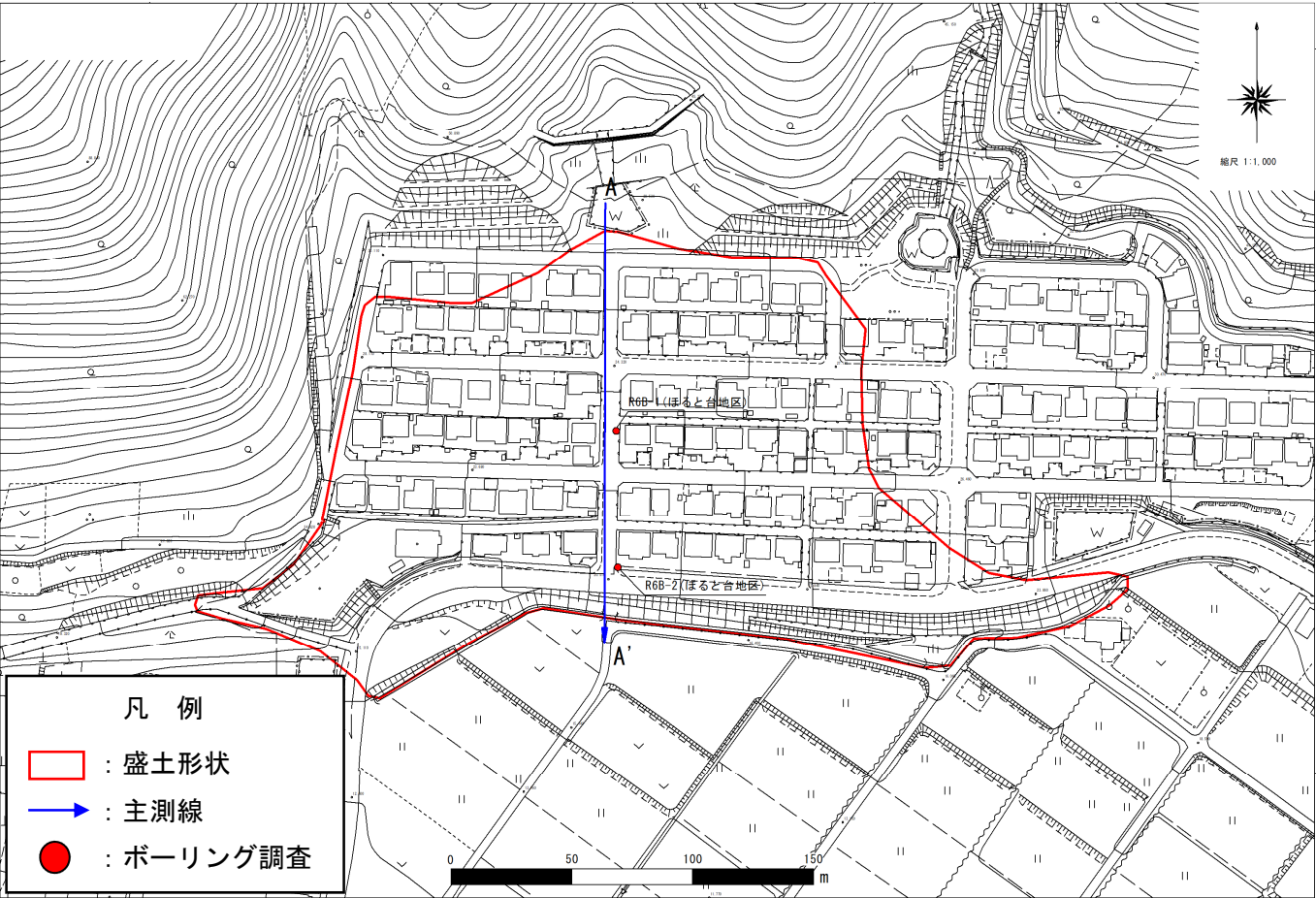


図 5 平面図

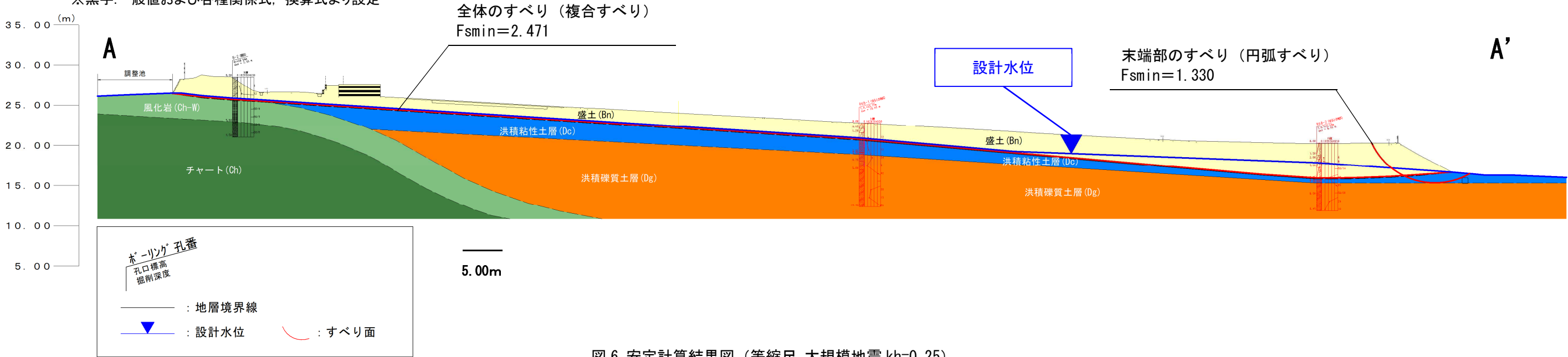


図 6 安定計算結果図（等縮尺_大規模地震 kh=0.25）